

株主通信 vol.36

RYOWA REPORT

第69期 業績のご報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

- ① ごあいさつ／トップインタビュー
- ④ 施工実績
- ⑤ テクノ菱和の技術の紹介
- ⑦ 連結財務情報
- ⑨ 会社概要／株式の状況

空
気
と
水
の
テ
ク
ノ
ロ
ジ
ー

株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第69期(平成29年4月1日から平成30年3月31日)の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。



株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

黒田 英彦
Hidehiko Kuroda

Q 当期の業績はいかがでしたか？

A 当期における受注状況は、堅調に推移する民間企業の設備投資需要を反映し、医薬関連分野をはじめとし、食品、化学、デバイス関連分野など幅広い業種での受注を確保したことから、産業設備工事を中心として前年を上回る受注量を確保することができました。収益につきましては、前年から繰り越した手持工事高の減少により売上高が減少し、利益につきましても、売上高の減少に加え、工事粗利益率の低下により、前年と比べ減益となりました。その結果、当社グループの当期連結業績は、受注高62,778百万円、売上高60,654百万円、営業利益3,242百万円、経常利益3,425百万円、当期純利益2,306百万円となりました。

	当期 (百万円)	前期 (百万円)
受注高	62,778	59,661
売上高	60,654	62,234
営業利益	3,242	4,421
経常利益	3,425	4,508
当期純利益	2,306	3,100

Q 中期3か年事業計画について教えてください。

A このたび、当社グループは中長期経営ビジョン2023の基本方針を踏まえ、第70期を初年度とする中期3か年事業計画(2018年4月～2021年3月)を策定しました。

具体的な方針としては、規模の拡大だけに捉われず、医薬品関連・食品をはじめとする産業設備を中心にバラ

(注) 本報告書において、当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します。

中期3か年事業計画 2018年度(第70期)～2020年度(第72期)

最終年度2020年度(第72期) 数値目標

	単体ベース	連結ベース
1 総売上高	600億円	660億円
2 経常利益	30億円	33億円
3 1人あたり売上高	7,700万円	
4 1人あたり経常利益	385万円	
5 人員	780人	

「中期3か年事業計画」の基本方針

- 1. バランスのとれた受注の推進**
医薬品関連・食品をはじめとする産業設備を中心にバランスのとれた受注を推進する
- 2. 積極的な海外展開**
当面のターゲットをASEAN市場に絞り、海外売上高の目標を総売上高の5%とする
- 3. 働き方改革の推進**
全従業員の4週6休の完全実施を早期に果たし、4週8休の実現を目指す
- 4. 企業競争力の一層の強化**
IoT等の最先端の技術の活用、生産性の向上により企業競争力の一層の強化を図る
- 5. 新たなビジネスへの挑戦**
新たな収益源として、新規事業に挑戦する

ンスのとれた受注を推進することとし、景気動向に左右されない事業基盤の確保を目指してまいります。さらにASEAN諸国における海外事業の基盤強化を図り、国内需要の減少にも対応した安定的な収益源の確保に取り組んでまいります。

また、横浜市に新たに建設中の研究開発施設を「省エネ・環境技術」の発信拠点として位置付け、環境技術の一層の研鑽と社員教育の充実を図るとともに、IoT等の最先端技術への積極的な投資を行い、生産性の向上と企業競争力の強化に努めてまいります。建設業界における喫緊の課題である長時間労働の是正につきましても、当社といたしましては、働き方改革を推進し、引き続き従業員の健康維持と就労環境の整備に取り組んでまいります。

Q 来期の方針を教えてください。

A 第70期につきましては、引き続きライフサイクル一貫ソリューションビジネスを推進するとともに、中期3か年事業計画の方針に則り、医薬品関連・食品をはじめとする産業設備工事の受注確保を目指し収益力の強化に努めてまいります。海外事業におきましては、ターゲットをASEAN諸国に絞り、安定した事業基盤の確保に取り組んでまいります。また、就労環境の整備を経営の最重要課題のひとつとして認識し、働き方改革を推進することで企業価値の向上を目指してまいります。

【第70期のスローガンについて】

当社は創業より技術力やノウハウ、取引先との信頼関係といった多くの「財産」を築いてまいりました。先輩から引き継いだ財産は守るだけでなく絶えず新しい価値を加え続けなければなりません。そこで第70期は、「先輩の築いた財産を守り、新しい価値を加えて後輩に残そう」というスローガンを掲げ各方針に取り組んでまいります。

Q 来期の業績見通しを教えてください。

A 建設業界におきましては、民間企業の堅調な設備投資を背景として、良好な受注環境が続くことが予想されますが、原材料価格の高騰から資機材費の上昇基調が高まっており、加えて、人手不足への対応や就労環境の改善といった労務問題への取り組みによりコスト上昇圧力が強まることが懸念されます。

このような状況を踏まえ、来期の連結業績見通しにつきましては、受注高60,000百万円、売上高62,500百万円、営業利益2,530百万円、経常利益2,700百万円、当期純利益1,670百万円を見込んでおります。

	来期予想 (百万円)
受注高	60,000
売上高	62,500
営業利益	2,530
経常利益	2,700
当期純利益	1,670

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 当社といたしましては、新たに策定した中期3か年事業計画に掲げました通り、引き続き医薬品・食品関連分野を中心とした産業設備分野での受注確保に注力し収益力の向上に努めてまいります。

また、人材育成や社員教育の充実を図り、企業競争力の一層の強化を目指してまいります。

なお当期の期末配当金につきましては、業績ならびに今後の事業展開等を勘案いたしました結果、1株につき12円とし、年間では前期より2円増配となる1株につき22円とさせていただきます。

当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

味の素パッケージング株式会社関東包装工場



本物件は、味の素株式会社のグループ企業である味の素パッケージング株式会社が運営する食品包装工場であり、川崎事業所に点在していた包装ラインを集約し、生産性の向上とロボットの導入による自動化を目的として建設されました。包装室の空調設備は温湿度管理に重点がおかれ、当社開発の中央監視システム(TEC-BEAMS®)を導入することできめ細かな空調制御を実現しています。

概要	
完成年月	2017年8月
施工地	神奈川県川崎市
建物用途	食品工場
延床面積	9,670.00㎡
物件形態	地上3階
工事範囲	空調・衛生設備工事

国営平城宮跡歴史公園平城宮いざない館



本物件は、平城宮跡歴史公園内に建設された展示施設であります。館内では映像プログラムや復元模型を展示しており、平城宮跡から出土された文化財の保存もしています。設備の特色としては、床吹出空調を併用した冷暖房床放射設備を採用し来館者の快適性を確保しております。またデシカント空調機および潜熱顕熱分離空調機による精緻な湿度制御を行うなど、文化財保護に配慮した設備となっております。

概要	
完成年月	2018年2月
施工地	奈良県奈良市
建物用途	展示施設
延床面積	6,755.59㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・衛生・消火設備工事



新日本薬業株式会社南港L&Lセンター



本物件は、医薬品原薬の品質確保と安定供給を目的として、大阪南港に建設された同社の新たな拠点となる原薬等保管GMP倉庫であり、冷蔵保管、危険物保管に対応した施設となっております。空調設備についてはパッケージエアコンおよびユニットクーラーを採用し、温湿度管理を行っております。

概要	
完成年月	2018年1月
施工地	大阪府大阪市
建物用途	医薬品原薬倉庫・試験施設
延床面積	2,695.02㎡
物件形態	地上3階
工事範囲	建築・空調・衛生・電気設備工事

日本水産株式会社鹿島医薬品工場



本物件は、同社が培ってきた高純度EPA(エイコサペンタエン酸)の抽出・精製技術を結集させた生産設備を有し、海外への医薬品供給を視野に入れた世界最高水準の品質と生産性を追求した施設であります。当社はcGMP基準に対応するため、精製・製造環境のクリーン化はもとより室圧制御ダンパによる微細な空調制御を実現しております。また、当社開発の医薬品施設向け中央監視システム(TEC-BEAMS+P)を採用頂いたことでcGMP基準達成に貢献しております。

概要	
施工年月	2017年5月
施工地	茨城県神栖市
建物用途	医薬品工場
延床面積	3,045.66㎡
物件形態	地上2階
工事範囲	空調・衛生設備工事

TOPICS 「(仮称)テクノ菱和R&Dセンター」建設工事について

当社は、新たな研究開発拠点として「(仮称)テクノ菱和R&Dセンター」の建設に着手いたしました。当施設では多様な高度化するお客様のニーズにお応えするためコア事業である環境エンジニアリングに関する研究開発を行うとともに、ステークホルダーへの省エネ・環境技術の発信拠点としての機能を担う施設を目指してまいります。

概要	
施工地	神奈川県横浜市
構造等	S造3階建て
延床面積	2,397.40㎡
施設概要	技術開発研究所および横浜支店



テクノ菱和の技術の紹介

Vol. 14

「環境のトータルエンジニアリング」企業である
私たちテクノ菱和の技術をみなさまにご紹介いたします。

IoT技術の活用

慢性的な人手不足が続くなか、企業が持続的な成長を維持するためには、AIやIoT技術を活用した業務効率化の推進と生産性向上を図ることが不可欠となります。当社は「中期3か年事業計画」の基本方針に掲げるとおり、IoT技術を活用した環境制御技術の開発に取り組み、企業競争力の一層の強化を図っております。



Q IoTとは何か?

「Internet of Things」の略称であり、「モノのインターネット」と翻訳されます。パソコンやスマートフォンに限らない「身の周りのあらゆるモノ」をインターネットに繋げることでモノとの相互通信や、遠隔からの操作・分析・計測などを可能としています。

Q 当社の取り組み

当社は、省エネルギー空調システム、エネルギーの遠隔監視や分析・設備診断技術の研究開発に注力しております。

これまでは、IoT技術とクラウドコンピューティング技術を融合した設備運用支援サービス「smartSOLAVICE」の開発およびAIを活用した機能拡張に取り組んでまいりました。

今後は、後述の新システム「VM-Scope」の運用拡大を見据えて、「smartSOLAVICE」等を利用して得たお客様施設の運転情報を分析・活用し、設備の安定稼動を支援するための機能開発を進め付加価値の向上を目指してまいります。

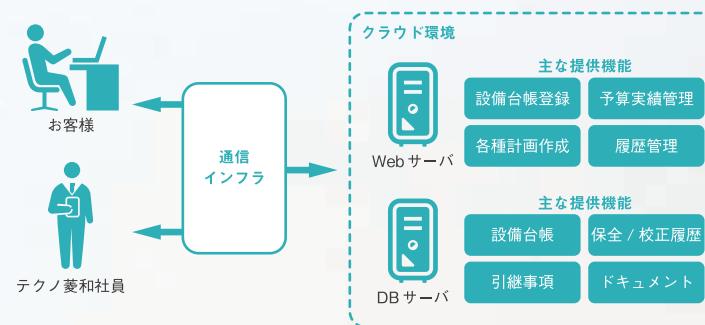
メンテナンス・バリデーションサポートシステム

VM-Scope (ブイエムスコープ)

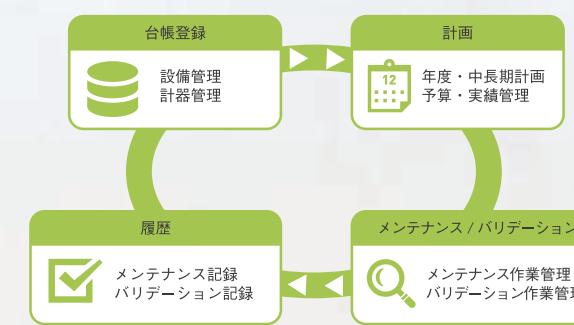


本システムはお客様設備のメンテナンス・バリデーション対象設備を一元管理し、「見える化・共有化」を図る業務支援ツールです。システムはクラウドサーバ形態とし、当社担当者とお客様の双方間で情報を一元管理・共有することができます。共有情報は設備・センサー情報、メンテナンス・バリデーション計画と実施結果、ライフサイクルコストなど多岐にわたります。本システムの導入によりお客様の業務の効率化とより高い品質のメンテナンスサービスを提供することができます。

■ システム構成イメージ



■ システムを活用した業務の流れ



無線式差圧測定システム

R-mobaco (アール モバコ)



医薬品製造現場等のクリーンルームの運転管理における室圧調整は重要かつ高い精度を求められる作業です。これまでは複数の作業員がトランシーバ等を利用して手で室圧調整を行っていたため、非常に時間と手間のかかる作業でしたが、当社が開発した無線式差圧測定システム「R-mobaco」はタブレット端末を利用することで遠隔かつリアルタイムでの確認・調整作業が可能となるため、作業の効率化と省人力化を図ることができます。

■ システム構成イメージ



受注高	売上高	経常利益	当期純利益
62,778 百万円 ＜前期比 5.2%増＞	60,654 百万円 ＜前期比 2.5%減＞	3,425 百万円 ＜前期比 24.0%減＞	2,306 百万円 ＜前期比 25.6%減＞

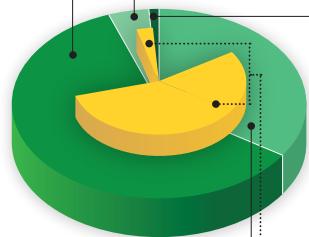
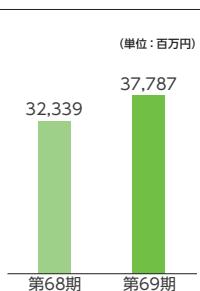
受注高構成比

(総受注高に対する割合を示しています。)

産業設備工事

60.2% 37,787百万円

当期は、輸出・省力化投資の増加を背景とした企業の設備投資意欲の高まりを受け、医薬品関連分野をはじめ幅広い業種での受注を確保できました。今後も医薬関連分野を中心とした産業設備の受注拡大に注力するとともに、ライフサイクル一貫ソリューションビジネスを推進し、お客様との関係強化に努めてまいります。



電気設備工事

4.3% 2,678百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



冷熱機器販売

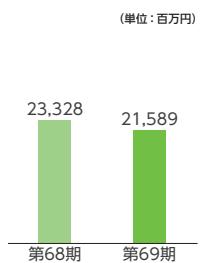
1.1% 723百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

一般ビル設備工事

34.4% 21,589百万円

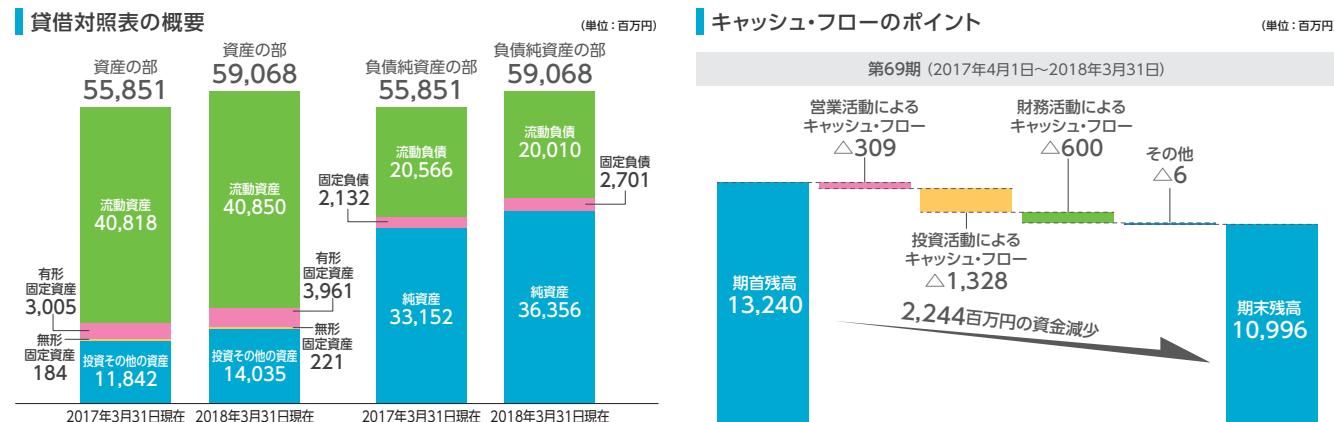
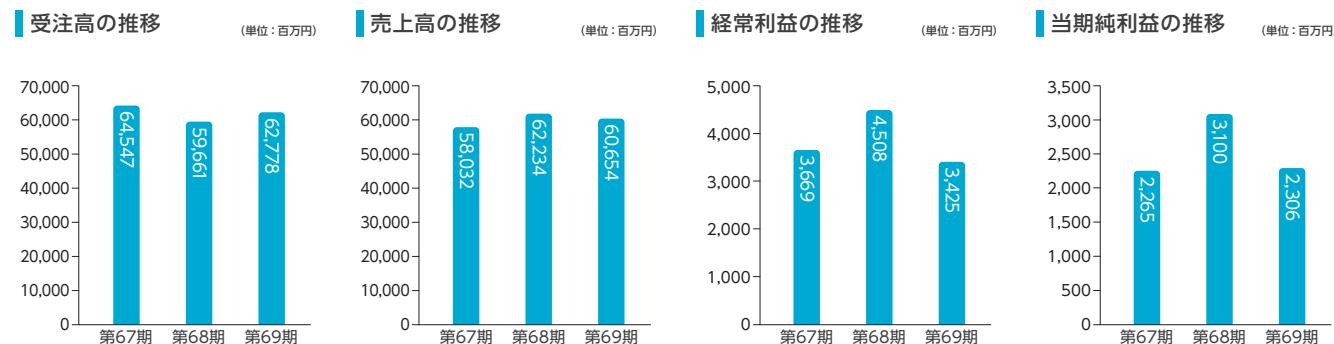
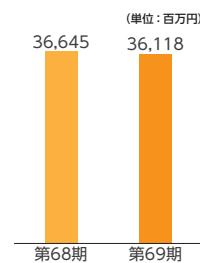
当期は、病院施設や熱源施設などの大型物件を受注したものの、全体としては前年を下回る結果となりました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し受注量の確保に努めてまいります。



設備改善工事

57.5% 36,118百万円

施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



財務のポイント

<p>資産の部</p> <p>流動資産における受取手形・完成工事未収入金等の増加20億円、固定資産における投資有価証券の増加15億円を主な変動要因として、資産合計は前期末と比較して32億円増加し、590億円となりました。</p>	<p>負債の部</p> <p>流動負債における未払法人税等の減少6億円、固定負債における繰延税金負債の増加6億円が主な変動であり、負債合計は前期末と同水準となる227億円となりました。</p>	<p>純資産の部</p> <p>利益剰余金の増加18億円、その他有価証券評価差額金の増加10億円を主な変動要因として、純資産合計は32億円増加し363億円となり、自己資本比率は前期末と比較して2.2ポイント上昇し、61.5%となりました。</p>	<p>キャッシュ・フロー</p> <p>売上債権の増加による資金減少22億円、法人税等の支払による資金減少17億円、有形固定資産の取得による資金減少11億円を主な変動要因として現金及び現金同等物は、前期末と比較して22億円減少し、109億円となりました。</p>
---	---	--	--

詳しい情報はウェブサイトへ

テクノ菱和 検索

会社概要 (平成30年3月31日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)

設立 昭和24年12月23日

資本金 2,746,800,000円

上場 東京証券取引所市場第二部

従業員 678名 (連結786名)

本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

登記上の所在地 東京都港区芝大門2丁目12番8号

事業内容 当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
- 一般ビル設備関連事業
- 電気設備工事業
- 電気設備工事業
- 太陽光発電事業
- 不動産賃貸事業
- 保険代理事業
- 冷熱機器販売事業

主な事業所

技術開発研究所(東京都世田谷区)	名古屋支店(愛知県名古屋市)
東京本店(東京都豊島区)	静岡支店(静岡県静岡市)
千葉支店(千葉県千葉市)	大阪支店(大阪府大阪市)
茨城支店(茨城県土浦市)	中国支店(岡山県倉敷市)
北関東支店(埼玉県さいたま市)	九州支店(福岡県福岡市)
東北支店(宮城県仙台市)	海外事業部(東京都豊島区)
横浜支店(神奈川県横浜市)	

役員 (平成30年6月27日現在)

取締役

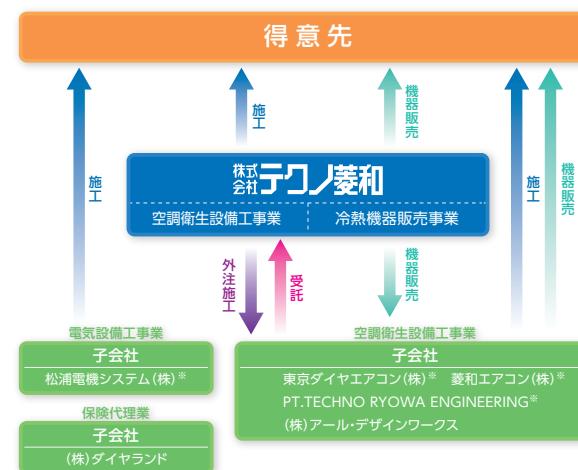
代表取締役	黒田 英彦
取締役	飯田 亮輔
取締役	知見 扶公
取締役	鈴木 孝孝
取締役	根岸 孝雄
取締役(社外)	武田 公温
取締役常勤監査等委員	雑賀 純二
取締役監査等委員(社外)	小栗 章雄
取締役監査等委員(社外)	本間 正広

執行役員

社長執行役員	黒田 英彦
専務執行役員	飯田 亮輔
専務執行役員	知見 扶公
常務執行役員	鈴木 孝孝
常務執行役員	星野 宏一
常務執行役員	根岸 孝雄
上席執行役員	松橋 秀明
上席執行役員	黒田 長憲
上席執行役員	窪 和敏
上席執行役員	加藤 雅也
上席執行役員	福士 富三
執行役員	大石 勉
執行役員	永崎 公幹
執行役員	鈴木 俊夫
執行役員	袴田 一博
執行役員	齋藤 吉信
執行役員	伊豆丸 暢
執行役員	富山 潤也

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイアエアコン株式会社*	PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING*
所在地 東京都新宿区	所在地 インドネシア共和国
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社*	株式会社アール・デザインワークス
所在地 愛知県名古屋市	所在地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
松浦電機システム株式会社*	株式会社ダイヤランド
所在地 大阪府守口市	所在地 東京都港区
主要な事業の内容 電気設備工事業	主要な事業の内容 保険代理業



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。



ご優待内容	ご優待品「特選茶」
ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株式の状況

発行済株式の総数 22,888,604株

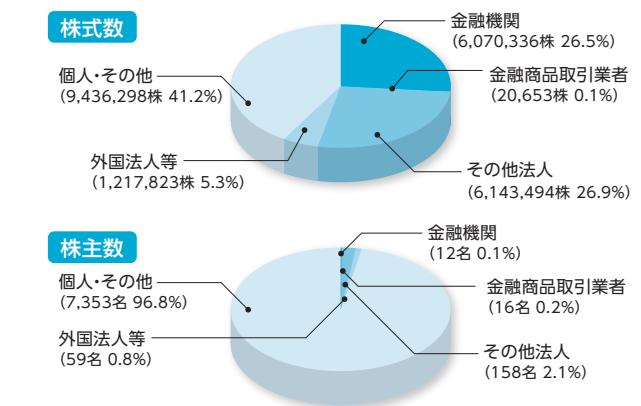
当期末現在の株主総数 7,598名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	2,141	9.3
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,131	4.9
株式会社みずほ銀行	1,131	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	3.9
株式会社名古屋銀行	738	3.2
明治安田生命保険相互会社	734	3.2
株式会社京葉銀行	723	3.1
近重 次郎	672	2.9
テクノ菱和従業員持株会	655	2.8

※ 株式会社三菱東京UFJ銀行は平成30年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しました。

株式の分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告掲載URL	http://www.techno-ryowa.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
諸手続き お問い合わせ先	【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】 ●証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。 ●特別口座に記録された株式をご所有の株主様 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。 【未受領の配当金について】 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせください。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL: 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

